

050 plus for Biz 050 plus W-mode

ver 4.0.0

操作マニュアル
for iPhone

2017年11月

目次

基本画面 P.4

- 発信画面

電話をかける P.6

- 電話をかける
- 電話帳から電話をかける
- お気に入りから電話をかける
- 無料通話先050番号判別機能
- 050通話料のおトク額表示機能
- マイクへのアクセスを有効にする
- マイクアクセス設定を変更する

電話をうける P.15

- 050 plus for Bizアプリからの着信
- 050 plus for Bizで通話中の携帯電話の着信
- 携帯電話で通話中の050 plus for Bizの着信

携帯電話モードについて (050 plus W-mode契約者のみ) P.22

- 携帯電話モードについて
- 携帯電話モードで電話をかける
- 履歴から携帯電話モードで電話をかける
- 携帯電話モード設定を変更する

電話帳機能 P.31

- 電話帳を開く
- 新しいグループを作成する
- グループを編集する

お気に入り機能 P.37

- お気に入りに連絡先を登録する
- お気に入りに登録されている連絡先を削除する
- お気に入りに登録されている連絡先を編集する

Bluetoothでの通話 P.41

- 事前準備
- Bluetooth機器を用いた通話

各種設定 P.45

- ステータスバーの説明
- 設定一覧から各種情報を確認・変更する
- アプリの設定画面各ボタン機能紹介
- 内線番号/050番号の発信者番号の通知/非通知を設定する
- iPhone電話アプリと連動
- 着信音を設定する
- 着信音をミュージックアプリ内から選択する
- 通話OFFモード
- 050 plus for Biz 通話音量を設定する
- おトク額表示設定を変更する
- おトク額表示用のキャリアプランを変更する
- おトク額情報を表示する
- メンテナンス情報を確認する
- 050番号を確認する
- このアプリのバージョンを表示する
- アプリを終了する
- アプリをアンインストールする

目次(2)

転送・留守電機能

P.63

- 転送設定(WEBカスコン設定)
- 転送設定(ダイヤル設定)
- 転送設定(アプリからの設定)
- 留守電機能(メッセージBOX設定)
- 留守電機能(WEBカスコン設定)
- 留守電機能(ダイヤル設定)
- 留守電機能(アプリからの設定)

接続状態測定

P.108

- 自動モニタリング
- 手動モニタリング
- 通話中モニタリング

ログ送付

P.97

- ログを記録する
- ログを停止する
- ログをメールで送る
- ログを削除する

制約事項

P.113

- 制約事項
- Bluetooth利用時の注意事項

通話不可状態からの 手動回復機能

P.105

- 復旧方法

基本画面

基本画面

発信画面



機能紹介

- 「電話番号表示欄」**
ダイヤルした番号を表示します
- 「電話帳追加登録」**
指定番号を電話帳へ追加します
- 「キーパッド」**
ダイヤルボタンをタップして、電話番号を入力します
- 「携帯電話モードで発信」**
①で表示された番号に「050 plus for Biz」から携帯電話
網経由で発信します
[>携帯電話モードについて…P.22へ](#)
- 「IP電話モードで発信」**
タップすると、①で表示された番号に「050 plus for Biz」
からIP電話網経由で発信します
[>電話をかける…P.6へ](#)
- 「Delete」**
①で表示された番号を削除します。長押しで表示された
全ての番号が消去されます
- 「メッセージ」**
テキストメッセージを送受信するメンバのリストを表示しま
す。
- 「電話帳」**
アドレス帳から、連絡先を指定できます
[>電話帳機能…P.31へ](#)
- 「履歴」**
発着信履歴から、連絡先を指定できます
[>電話をかける…P.6へ](#)
- 「設定」**
「050 plus for Biz」アプリの設定情報の確認や変更をする
ことができます
[>各種設定…P.45へ](#)

電話をかける

(IP電話モードで発信する)

電話をかける (IP電話モードで発信する)

電話をかける

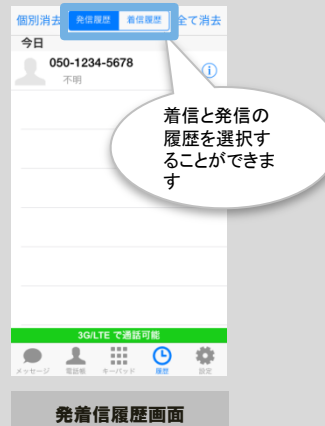
キーパッドを利用して電話をかける相手の電話番号を入力します





▼通話相手の指定方法

- キーパッドからダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する
- 『お気に入り(お気に入り機能)』から連絡先を指定する >P.10へ
- 『電話帳機能』から連絡先を指定する >P.9へ


【発着信履歴】から連絡先を指定する】



1

ホーム画面上の  をタップし、ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します
※番号を間違えた場合: Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

2

 をタップします(電話がかかります)



国際通話の折り返し発信

国際通話に折り返し電話をかける場合は、連絡先を指定した後、「*」を長押ししてください。番号の先頭に国際通話に必要な「+」が表示されます。

電話をかける (IP電話モードで発信する)

3

通話が終わったら、 をタップします (通話が終了します)



各ボタンの機能

1		050 plus for Bizの音声を消音します ※相手に自分の音声は届きませんが、相手の音声は聞こえます
2		通話を保留します
3		キーパットを表示します
4		音声出力先を変更します ※出力先は、iPhone (本体受話部) / iPhoneスピーカー / ヘッドセット等の接続先機器のいずれかより選択・変更が可能です ※Bluetoothのご利用については、P.41-44、P.115をご確認ください



電話をかける (IP電話モードで発信する)

電話帳から電話をかける

電話帳から電話をかける相手の電話番号を選択します



1


ホーム画面上の  をタップ→電話帳ボタン  をタップすると電話帳が表示されます

2

電話帳画面から電話をかける相手をタップします
※1つの連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、発信する電話番号をもう一度指定する必要があります

3

キーパッド画面に通話相手の電話番号が正しく表示されていることを確認し、

 をタップします(電話がかかります)




電話をかける (IP電話モードで発信する)

お気に入りから電話をかける

電話をかける相手の電話帳をお気に入り(お気に入り)から呼び出し、簡単に電話をかけることができます



1

ホーム画面上の  をタップして、お気に入りボタン  をタップし、タイトル右の  をタップします

2

登録されている連絡先をタップするとキーパッド画面に遷移します

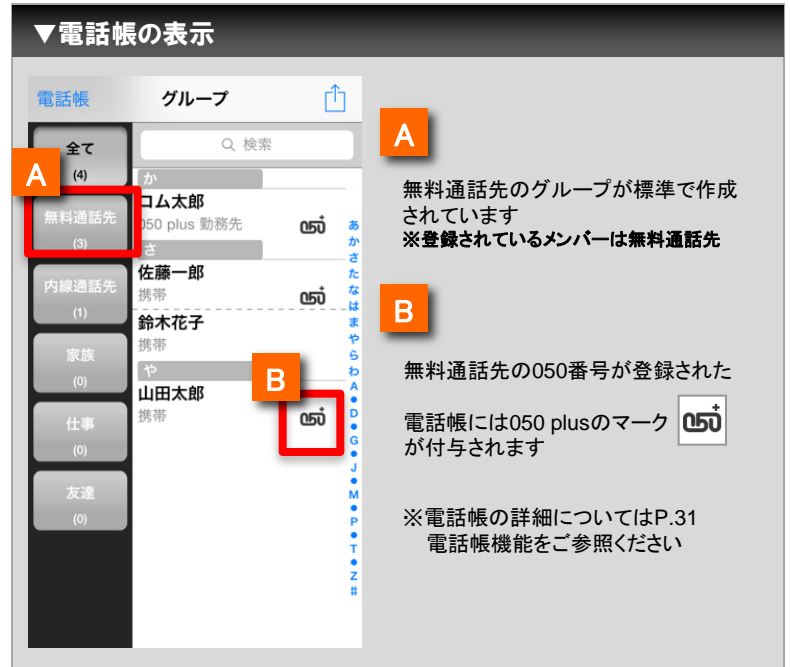
3

キーパッド上の発信ボタンをタップし発信します


電話をかける (IP電話モードで発信する)

無料通話先050番号判別機能

「050 plus」や「OCNドットフォン」、無料通話先プロバイダが提供する050IP電話に発信する際は番号を判別して表示します



1

ホーム画面上の  をタップして、無料通話先050番号を入力すると電話番号表示欄の背景が緑色になります。

2

同時にIP電話モードボタン  が  となり、無料通話先050番号の判別ができます。

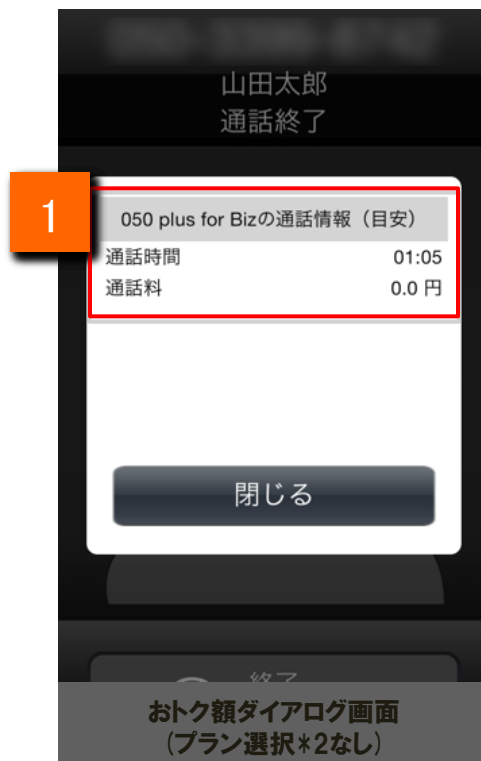
■注意点

- ・ひかりラインなど、050から始まらない電話番号については**無料通話対象であっても**、本機能による表示は行いません(実際の通話は無料になります)

電話をかける (IP電話モードで発信する)

050通話料のおトク額表示機能

おトク額設定*1においておトク額の表示を行っていた場合、発信終話時に本アプリで通話した通話額(目安)と携帯電話で通話した場合の通話料(目安)が表示されます。



- 1 本アプリで発信した際の通話時間と通話料(目安)を表示します。
- 2 おトク額設定*1で設定したキャリアプランで発信した場合の通話料(目安)と本アプリの通話料との差額を表示します。
- 3 月間累計のおトク額を表示します。

*1: 設定一覧の「おトク額設定」項目(P.55)

*2: おトク額設定内の「携帯プラン設定」項目(p.56)

*携帯電話モード使用時はおトク額ダイアログは表示されません。

電話をかける (IP電話モードで発信する)

マイクへのアクセスを有効にする

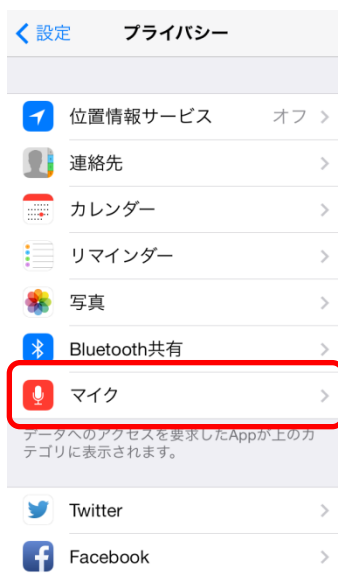
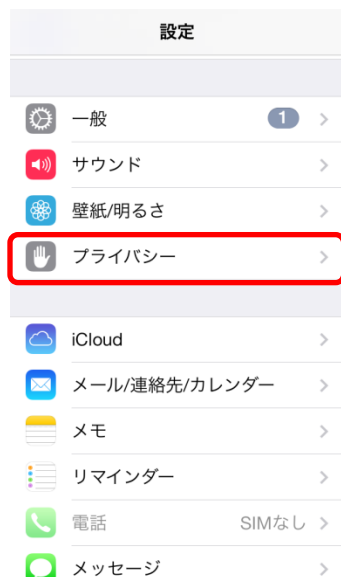
初めて通話する際に「050 plus Biz」がマイクへのアクセスを求めています」と表示されるので「OK」をタップしてください。

※「許可しない」を設定した場合は、以下の「マイクアクセス設定を変更する」をご確認いただき、設定を変更してください。



マイクアクセス設定を変更する

iOSの「設定」⇒「プライバシー」⇒「マイク」⇒「050 plus Biz」を有効に設定します。



電話をかける(IP電話モードで発信する)

- 電波状況の悪い場所や圏外エリアでご利用の場合、「発信」ボタンをタップしても発信できない場合があります。電波状況の良い場所に移動してご利用ください。
- 電波状況が悪い場所ではIP電話における通話状態が不安定になる場合があります。当該事象として、音切れ・音声品質の劣化・遅延が大きくなる・通話の終了等があげられます。
- 電波状況の目安として、ステータスバーに表示されている電波状況表示があげられますが、電波状況の良し悪しが電波状況表示のみで把握できないことを了承ください。
- 電話番号の先頭に「184」を付けて発信した場合、発信相手には発信者番号が通知されません。「186」を付けて発信した場合、発信相手には発信者番号が通知されます。「184」「186」は「050 plus for Biz アプリ設定画面」→「発信者番号の通知/非通知」の設定状態より優先されます。
- 発信時、着信時、通話中時にiPhone本体サイドの音量ボタンで、音量の調整が可能です。
- 通話中は、消費電力のセーブおよび誤操作防止のため、iPhone本体を顔に近づけると画面が消灯し、離すと画面が点灯します。本体上部のスピーカー付近のセンサーで画面を点灯/消灯しますので、スピーカー付近を触れると画面が消灯することがあります。

電話をうける

電話をうける

050 plus for Bizアプリからの着信（画面ロックなし） ※iPhone電話アプリと連動時

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、OS標準電話アプリの着信画面に直接遷移します。



1 OS標準電話で着信します（「050 plus for Bizオーディオ」と表示されます）。「応答」「拒否」など、着信に対してボタン操作してください。

2 着信画面の「あとで通知」ボタンをタップすると、ポップアップが表示されます。「1時間後」をタップすると通話が終了し、1時間後、着信情報の通知が届きます。

機能紹介

機能紹介		
1	応答	アプリの通話画面に遷移します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。
3	あとで通知	通話を拒否し、1時間後に「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

※「iPhone電話アプリと連動」の設定は、アプリのインストール時、ONに設定されています。

※「iPhone電話アプリと連動」の設定が無効かつ050 plus for Bizがバックグラウンド表示になっている場合は、アプリの着信画面を表示するために050 plus for Bizアプリの通知バーをタップする必要があります。

電話をうける

050 plus for Bizアプリからの着信（画面ロックあり） ※iPhone電話アプリと連動時

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、OS標準電話アプリの着信画面に直接遷移します。



1 OS標準電話で着信します（「050 plus for Bizオーディオ」と表示されます）。
応答する場合は画面をスライドしてロックを解除してください。

2 「スライドで応答」の操作で通話が開始します。また、画面に表示されたボタンで
通話中の各種操作が可能です。

※「保留」の操作をしたい場合は、「050 plus for Biz」ボタンをタップして、050 plus for Bizアプリの通話画面に遷移してください。「保留」の操作をしない場合は「050 plus for Biz」のタップ操作は不要です。

※FaceTime機能はご利用いただけません。

※ 050 plus for Bizアプリの通話画面に遷移する際、iOSの設定によりパスコード等を求められます。

3 050 plus for Bizアプリの通話画面が表示されます。

※OS標準電話の通話画面に戻ることはできません。

機能紹介

1	スライドで応答	アプリの通話画面に遷移します。
2	あとで通知	通話を拒否し、1時間後に「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

050 plus for Bizで通話中の携帯電話の着信（※iPhone電話アプリと連動時）

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、050 plus for Bizアプリで通話中に携帯電話の着信があった場合、通話を維持したまま携帯電話向けの操作が可能です。



1 050 plus for Bizアプリで通話します。

2 050 plus for Bizで通話中、携帯電話に着信すると、携帯電話の着信画面が表示されます（050 plus for Bizの通話は継続します）。表示されたボタンから着信した携帯電話向けの操作を行ってください。

3 携帯電話の着信画面（**2**）の「あとで通知」および「メッセージを送信」をタップすると、画面上にポップアップが表示されます。

機能紹介

1	留守番電話に転送	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、050 plus for Bizアプリの通話が継続します。（050 plus for Bizの通話中画面に戻ります）
2	終了して応答	050 plus for Bizの通話を終了し、携帯電話の着信に応答します。
3	保留して応答	050 plus for Bizの通話を保留し、そのまま携帯電話の着信に応答します。（050 plus for Bizの通話は継続します） ※携帯キャリアで保留サービス未提供の場合は通話が切断されます。
4	メッセージを送信	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、発信元番号に対して選択したメッセージをOS標準アプリで送信します。（通話は継続します）
5	あとで通知	携帯電話の着信は応答拒否扱いとなり、050 plus for Bizの通話が継続します。1時間後に「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

携帯電話で通話中の050 plus for Bizアプリの着信（※iPhone電話アプリと連動時）

「アプリの設定」で「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、携帯電話で通話中に050 plus for Bizに着信があった場合、通話を維持したまま050 plus for Biz向けの操作が可能です。



1 携帯電話で通話します。

2 携帯電話で通話中、050 plus for Bizに着信すると、050 plus for Bizの着信画面が表示されます（携帯電話の通話は継続します）。表示されたボタンから着信した050 plus for Biz向けの操作を行ってください。

3 携帯電話の着信画面（2）の「あとで通知」および「メッセージを送信」をタップすると、画面上にポップアップが表示されます。

機能紹介

1	拒否	050 plus for Bizの着信は応答拒否扱いとなり、携帯電話の通話が継続します。（携帯電話の通話中画面に戻ります）
2	終了して応答	携帯電話の通話を終了し、050 plus for Bizの着信に応答します。
3	保留して応答	携帯電話の通話を保留し、そのまま050 plus for Bizの着信に応答します。（携帯電話の通話は継続します） ※携帯キャリアのサービス加入状況によっては携帯電話が切断され、050 plus for Bizの通話に移行します。
4	後で通知	050 plus for Bizの着信は応答拒否扱いとなり、携帯電話の通話が継続します。1時間後に「リマインダー」アプリに着信情報の通知が届きます。

電話をうける

050 plus for Bizアプリからの着信（画面ロックなし） ※iPhone電話アプリと連動OFF時

050 plus for Bizアプリに着信があったことを知らせる通知バーをタップして応答します。



1 050 plus for Bizに着信すると、画面上にアプリの通知バーが表示されます。通知バーをタップすると、着信画面に遷移します。

2 着信画面の「応答」「拒否」等のボタンをタップして、着信に対する操作を行います。

機能紹介		
1	応答	通話を開始します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。
3	メッセージで返信	通話を拒否し、通話相手にメッセージを選択し、送信できます。 「メッセージで送信」の利用には、Web電話帳オプションの契約が必要となります。

※通話画面に表示される各種操作機能については、P.8をご参照ください。

※メッセージ機能については、『050 plus for Biz 操作マニュアル(Web電話帳編)』をご参照ください。

電話をうける

050 plus for Bizアプリからの着信（画面ロックあり） ※iPhone電話アプリと連動OFF時

050 plus for Bizアプリに着信があったことを知らせる通知バーをタップして応答します。



1 050 plus for Bizに着信すると、ロック画面上にアプリの通知バーが表示されます。通知バーをタップすると、着信画面に遷移します。

※ 050 plus for Bizアプリの着信画面に遷移する際、iOSの設定によりパスコード等を求められます。

2 着信画面の「応答」「拒否」等のボタンをタップして、着信に対する操作を行います。

機能紹介		
1	応答	通話を開始します。
2	拒否	通話を拒否し、直前の画面に遷移します。
3	メッセージで返信	通話を拒否し、通話相手にメッセージを選択し、送信できます。 「メッセージで送信」の利用には、Web電話帳オプションの契約が必要となります。

※通話画面に表示される各種操作機能については、P.8をご確認ください。

※メッセージ機能については、『050 plus for Biz 操作マニュアル (Web電話帳編)』をご確認ください。

携帯電話モードについて

(050 plus W-mode契約者のみ)

携帯電話モードについて

携帯電話モードについて

携帯電話モードとは

・BYOD(社員個人の携帯電話などを業務利用すること)を、便利にご利用できるサービスです。
050番号で発信し、携帯電話モード発の通話料金についてはご契約企業へ請求いたします。

これまで携帯電話モードでの発信には、専用アプリの導入や特定番号のダイヤルが必要でしたが、本アプリを利用すれば簡単なボタン操作で発信方法の切替ができます。

『プライベート通話』、『社内の人間とのビジネス通話(音質よりコストを重視)』、『お客様とのビジネス通話(音質を重視)』、簡単な切替操作で、ご利用シーンごとに最適な発信方法をお選びいただけます。

携帯電話モードとIP電話モードの違いについて

【携帯電話モード】

音声通信用のネットワークを利用して通話するので、通話品質が安定しています。

携帯電話宛への通話料は32.4円/分、固定電話宛へは21.6円/分です。
(050 plus W-mode加入者同士の通話は、無料通話とはなりません。)

【IP電話モード】

データ通信用のネットワークを利用して通話するので、混雑した場所などでは通話品質が不安定になる場合があります。

携帯電話宛への通話料は17.28円/分、固定電話宛へは8.64円/3分です。
NTTコミュニケーションズや、無料通話先プロバイダの050番号への通話は、無料通話となりお得です。

※050 plus for Bizのみの申込の方は、IP電話モードのみのご利用となります。



- ・お客様への通話など音声品質を重視したい場合、携帯電話モードでの通話
- ・コストを重視したい場合、050 plus for Bizでの通話

目的によって2つのサービスを使い分けることで、もっと便利に050 plus for Bizをご利用することが可能です！！

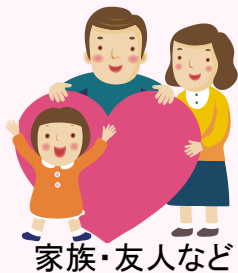
携帯電話モードについて

携帯電話モード / IP電話モード / プライベート通話

050番号を通知

090/080番号を通知

プライベート通話



通常の携帯発信



IP電話モード(コスト重視)

IP電話モード
で発信



関連部署・同僚など

携帯電話モード(音質重視)

携帯電話モード
で発信



お客様など

通話料は、ご利用の携帯電話会社から
携帯電話のご契約者様へ請求

通話料は、NTTコミュニケーションズから
ご契約企業へ請求(全契約者分を一括請求)


携帯電話モードの概要については、NTTコミュニケーションズのホームページ
(http://www.ntt.com/050plus_wmode/)にてご確認ください。

**※携帯電話モードは、050 plus W-modeをご契約頂いている方がご利用頂けます。
(ご利用には、別途「050 plus W-modeオプション」のお申し込みが必要です。)**



※携帯電話モード発信機能をご利用する際の注意

・docomo、au、Softbank、Y!Mobile(PHS)以外の携帯電話をご利用の方は、[携帯電話モード]ボタンをご利用頂けない場合があります。携帯電話モード発信する場合は、[0120-0035-43]を発信してください。また、ガイダンスに従って、相手先電話番号をダイヤルし最後に#を押してください。


・「0035ビジネスモード」アプリ  はご利用できませんので、「0035ビジネスモード」アプリをアンインストール、もしくは起動しないでください。


携帯電話モードで発信する



携帯電話モードで電話をかける

キーパッドを利用して携帯電話モードで電話をかける相手の電話番号を入力します



1 ダイアルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します
※番号を間違えた場合：Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

2  をタップします（携帯電話モードで電話がかかります）
※ご注意
[携帯電話モード]ボタンをタップすると「携帯電話モード」からの発信となります
[IP電話モード]ボタンをタップするとIP電話モードからの発信となります

※ 携帯電話モードを解除する場合は [携帯電話モード] ボタンを1秒以上長押し、ボタン表示が  から、  に変わったことを確認した上で、発信してください。

また、発信ボタン表示を固定する場合はP.27からの「事前設定(携帯電話モード)」を参照下さい。

※ 携帯電話モードでの発信では、発信番号の先頭に「184003543(非通知の場合)」「186003543(通知の場合)」が付加されます。

携帯電話モードで発信する

履歴から携帯電話モードで電話をかける

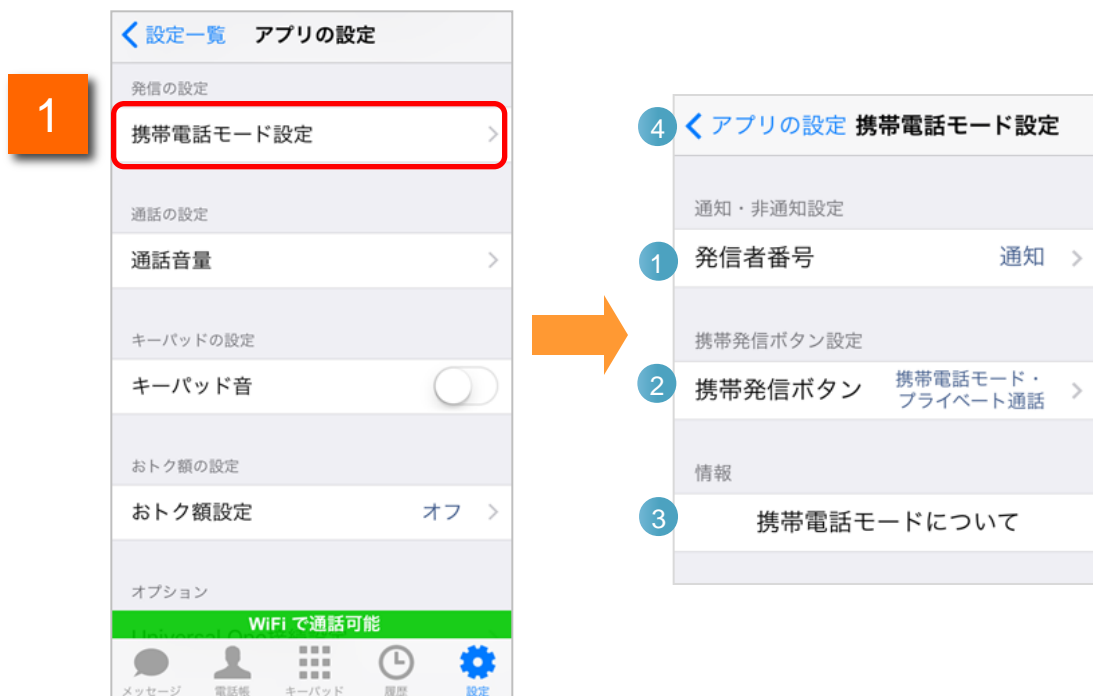


1 履歴の ⓘ をタップして、情報画面を表示します

2 [携帯電話モード発信]をタップします。(携帯電話モードで電話がかかります)
※携帯電話モードで発信した場合の発信履歴は青文字になります。

事前設定(携帯電話モード)

携帯電話モード設定を変更する

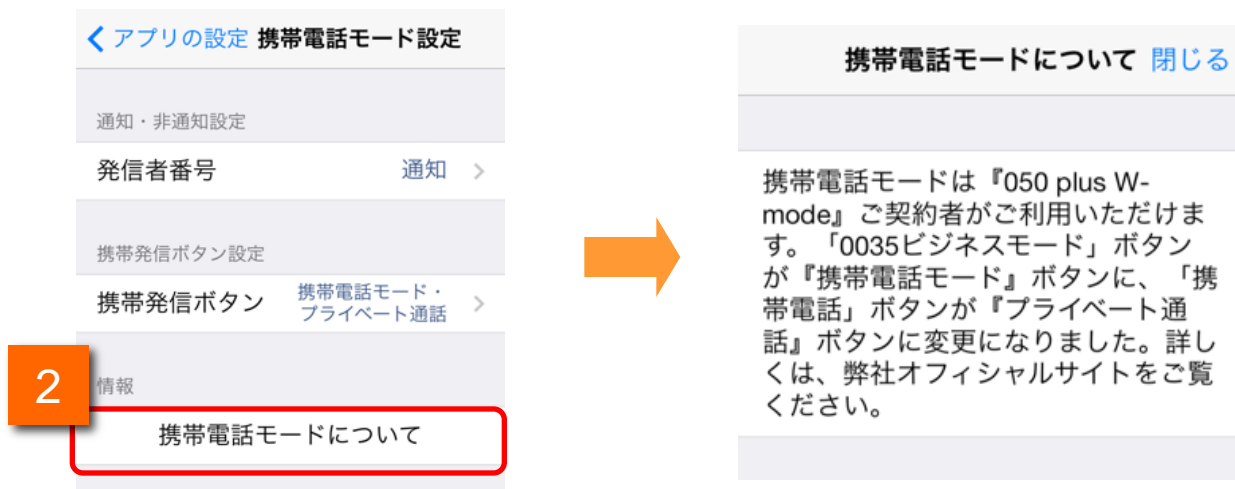


1

アプリの設定の[携帯電話モード設定]をタップすると、携帯電話モードの設定画面が表示されます。

機能紹介		
1	発信者番号ボタン	タップすると発信者番号画面が表示されます。
2	携帯発信ボタン	キーパッド画面の携帯発信ボタンの表示設定、および「プライベート通話」ボタン、または「携帯電話モード」ボタンを使用するかどうかの設定を行うことができます。
3	携帯電話モードについて	携帯電話モードの情報が表示されます。
4	アプリの設定ボタン	「アプリの設定」へ戻ります。

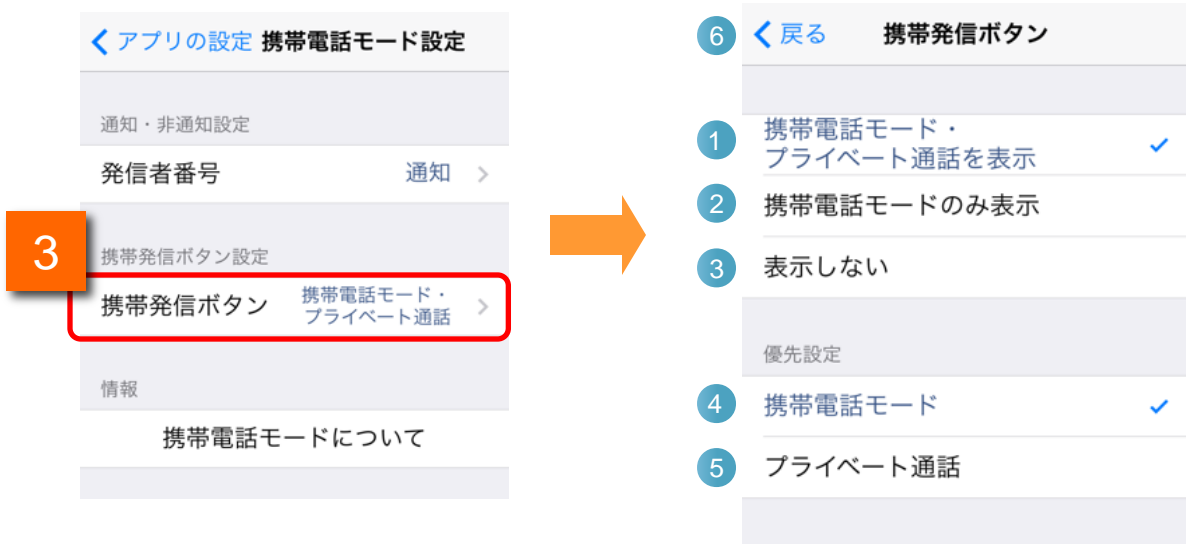
事前設定(携帯電話モード)






2

携帯電話モード設定の[携帯電話モードについて]をタップすると、
携帯電話モードについてのご案内が表示されます。

事前設定(携帯電話モード)



3 携帯電話モード設定の[優先設定]をタップすると、発信時の優先設定画面が表示されます。

機能紹介		
1	携帯電話モード・プライベート通話を表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンが、優先設定により固定され、「プライベート通話」ボタン、「携帯電話モード」ボタンのいずれかを表示します。
2	携帯電話モードのみ表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「携帯電話モード」  に固定されます。キーパッド画面で、プライベート通話ボタンを長押ししても「プライベート通話」には変更できません。
3	表示しない	キーパッド画面の左側の発信ボタンを表示しません。
4	プライベート通話	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「プライベート通話」  に固定されます。 キーパッド画面で、プライベート通話ボタンを長押しすることで、携帯電話モードに変更することができます。
5	携帯電話モード	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「携帯電話モード」  に固定されます。 キーパッド画面で、携帯電話モードボタンを長押しすることで、携帯電話モードを解除できます。
6	携帯電話モード設定ボタン	「携帯電話モード設定」へ戻ります。

事前設定(携帯電話モード)



4

携帯電話モード設定の[発信者番号]をタップすると、携帯電話モード発信時の発信者番号通知設定画面が表示されます。



機能紹介		
1	通知	携帯電話モード発信が「通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には端末の050番号が通知されます。
2	非通知	携帯電話モード発信が「非通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には非通知での着信であることが表示され、端末の050番号は通知されません。
3	携帯電話モード設定ボタン	「携帯電話モード設定」へ戻ります。

電話帳機能

電話帳機能

電話帳を開く

電話帳機能のメニューを活用することで「新しいグループの作成」や「グループ編集」などが行えます

- 1 ホーム画面上の  をタップして、電話帳ボタン  をタップすると登録されている電話帳の一覧が表示されます



電話帳機能

2 電話帳画面のグループをタップすると、電話帳のグループ一覧が表示されます

※グループ一覧画面では、すでに登録済の電話帳の一覧を表示したり、新たな電話帳を登録することができます



機能紹介	
1	<p>全て (0)</p> <p>全ての連絡先一覧が表示されます ※()内は登録されている数</p>
2	<p>無料通話先 (0)</p> <p>無料通話先のグループははじめから作成されています ※登録されるメンバーは無料通話先050番号が登録された連絡先です</p>
3	<p>内線通話先 (0)</p> <p>内線番号の一覧が表示されます ※先頭が0,1から始まらない電話番号は、こちらに登録されます</p>
4	<p>↑</p> <p>電話帳の設定メニューが表示されます ※選択しているグループにより、表示される項目が変わります</p>

※選択したボタンにより、表示される項目が変わります



機能紹介	
5	<p>グループの追加</p> <p>新しいグループを追加登録します</p>
6	<p>グループの編集</p> <p>登録済みのグループについて、名称や登録メンバーの変更ができます</p>
7	<p>グループの削除</p> <p>登録済みのグループを削除します ※グループに登録されているメンバーは削除されません</p>
8	<p>連絡先の追加</p> <p>登録されているグループへ新しい連絡先を追加します</p>
9	<p>色の変更</p> <p>グループの色変更が設定できます</p>
10	<p>キャンセル</p> <p>設定メニューの表示をキャンセルします</p>

※自分で作成したグループを選択している場合の表示例


電話帳機能

新しいグループを作成する

電話帳をグループ分けすることによって、電話帳の情報整理・活用が行なえます

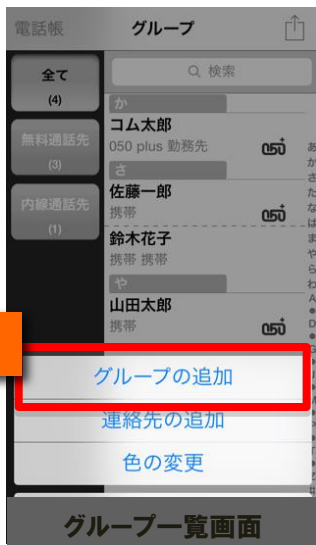
1 電話帳画面でグループをタップします



2 グループ一覧画面で  をタップします



3 グループの追加ボタンをタップします



4 【4-1】今回追加するグループの名前を入力します
【4-2】グループのメンバーに登録する連絡先をタップし、「✓」マークが表示されたことを確認します
【4-3】右上の完了ボタンをタップして完了です



電話帳機能

グループを編集する

グループの編集や削除を行うことができます

1

電話帳画面で グループをタップします




2

グループを指定します



3

グループ一覧画面で  をタップします



電話帳機能

4

グループの編集メニューが表示されます



機能紹介

①	グループの追加	新しいグループを追加します
②	グループの編集	グループ名を変更します
③	グループの削除	グループを削除します
④	連絡先の追加	新しい連絡先を追加します
⑤	色の変更	グループボタンの色設定をします

※iPhoneの「Exchange」にて、外部のメールアカウント(Gmail等)と電話帳(連絡先)を同期している場合、グループの追加やグループの編集が一部正常に動作しない場合があります


お気に入り機能

お気に入り機能

お気に入りに連絡先を登録する

よく電話をかける連絡先をお気に入り(お気に入りに)に登録することで、簡単に電話をかけることができます



1 お気に入り画面右上のボタン  をタップします

2 登録されているすべての連絡先が表示されます
登録したい連絡先をタップするとお気に入りに登録が完了します

3 連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、
登録したい電話番号を選んでタップしてください

お気に入り機能

お気に入りに登録されている連絡先を削除する

お気に入りに登録されている連絡先を削除することができます



1 お気に入り画面左上の編集ボタン **編集** をタップします

2 削除を行う連絡先の **-** をタップします

3 削除ボタンをタップするとお気に入りから削除されます
※『お気に入り』の登録から削除されますが、『電話帳』の登録は削除されません

お気に入り機能

お気に入りに登録されている連絡先を編集する

お気に入りに登録されている連絡先の表示順を入れ替えることができます



1 お気に入り画面左上の編集ボタン **編集** をタップします

2 連絡先の右側にある **≡** をタップします

3 **≡** をタップした状態で、移動したい場所へドラッグ&ドロップすると表示順を変更することができます

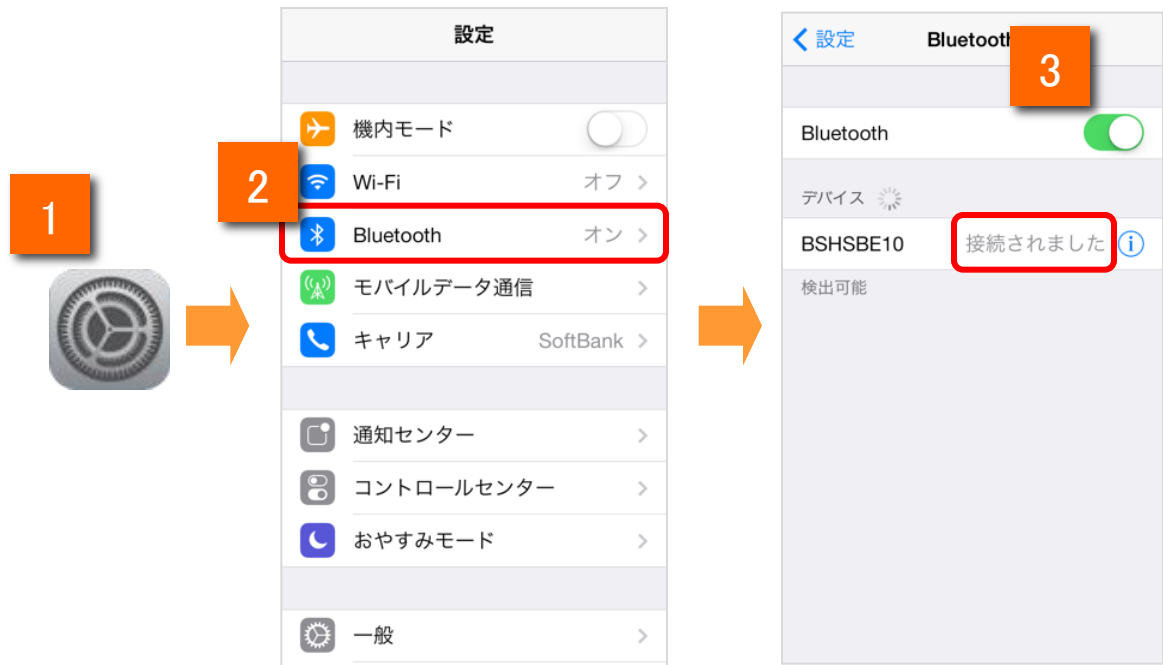
Bluetoothでの通話

Bluetoothでの通話

事前準備

使用するBluetooth機器を予め端末に登録しておきます(ペアリング)。

なお、Bluetoothで通話をするためには、HSPまたはHFPのプロファイルを持ったBluetooth機器を準備してください。



1 ホーム画面上でiPhone端末の「設定」をタップします。設定にて「一般」をタップします。

2 「Bluetooth」をタップします。

3 Bluetoothを「オン」にスライドします。
また、使用するBluetooth機器を「接続されました」の状態にします。
ペアリングの具体的方法は、Bluetooth機器付属の説明書を参照ください。

Bluetoothでの通話

Bluetooth機器を用いた通話(HSPプロファイル対応機器の場合)

使用するBluetooth機器の電源を予めONにしておきます。



1 通話画面にて「オーディオソース」をタップします。

2 デバイスの選択画面が表示されます。先ほど、ペアリング設定時に接続した機器名をタップするとBluetooth接続ができます。

Bluetooth接続済みの場合



Bluetooth未接続の場合



※オーディオソースは「iPhone スピーカー」「Bluetooth機器名(製品型番等が表示)」「iPhone(本体受話部)」の選択が可能です。

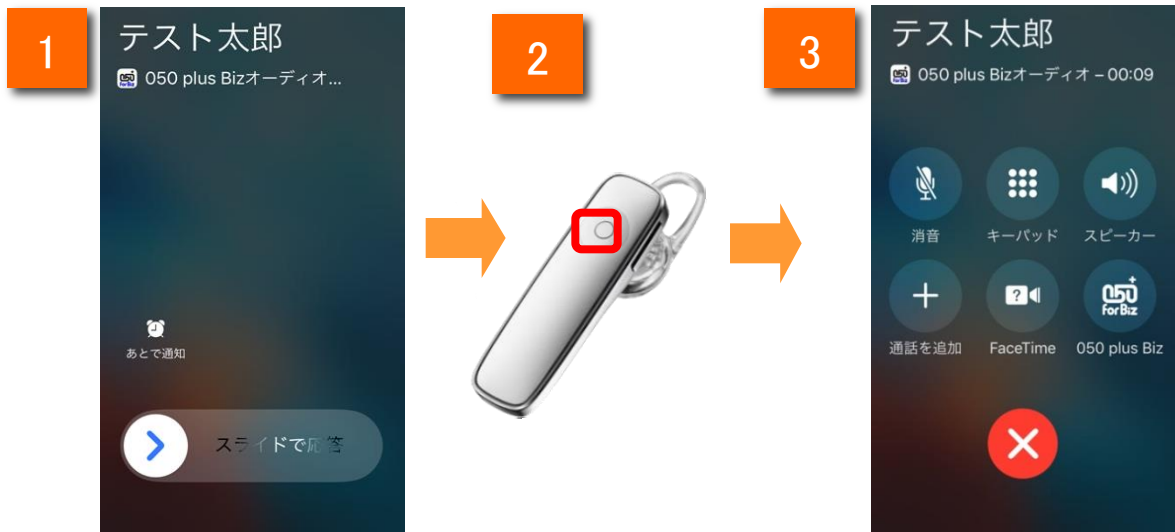
※Bluetooth機器が接続されていない場合、オーディオソースの選択画面にはBluetooth機器名は表示されません。

※Bluetooth利用時の注意事項についてはP.115をご確認ください

Bluetoothでの通話

Bluetooth機器を用いた通話(HFPプロファイル対応機器の場合)

使用するBluetooth機器の電源を予めONにしておきます。



1 HFP対応機器とペアリングしている状態で、アプリに着信します。

2 機器上の応答ボタンを操作して、着信に応答します。

※着信に応答するための操作方法については、各機器の操作マニュアルをご確認ください。

3 通話が始まります。

※HFP対応機器を用いた通話は、着信応答および終話のみ可能です。
機器からの発信操作はできません。

各種設定

各種設定

ステータスバーの説明



1 050 plus for BizのIP電話の状態を表します。

アイコン	説明
3G/LTE で通話可能 WiFi で通話可能	通話可能な状態です。
3G/LTE で接続状態が不安定 WiFi で接続状態が不安定	通話可能な状態ですが、接続状態は不安定です。
📶 接続中	通話するためネットワークに接続中です。
通話不可	通話不可状態です。 ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
圏外	圏外状態です。(ネットワークが繋がっていない状態です。)※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
通話OFFモード	通話OFFモードが有効になっている状態です。 ※通話OFFモードは「アプリの設定」で設定可能です。

各種設定

設定一覧から各種情報を確認・変更する



1

ホーム画面上の  をタップします。

2

画面右下の  をタップします。

3

設定一覧画面から各種メニューを確認できます。

各種設定

アプリの設定画面各ボタン機能紹介

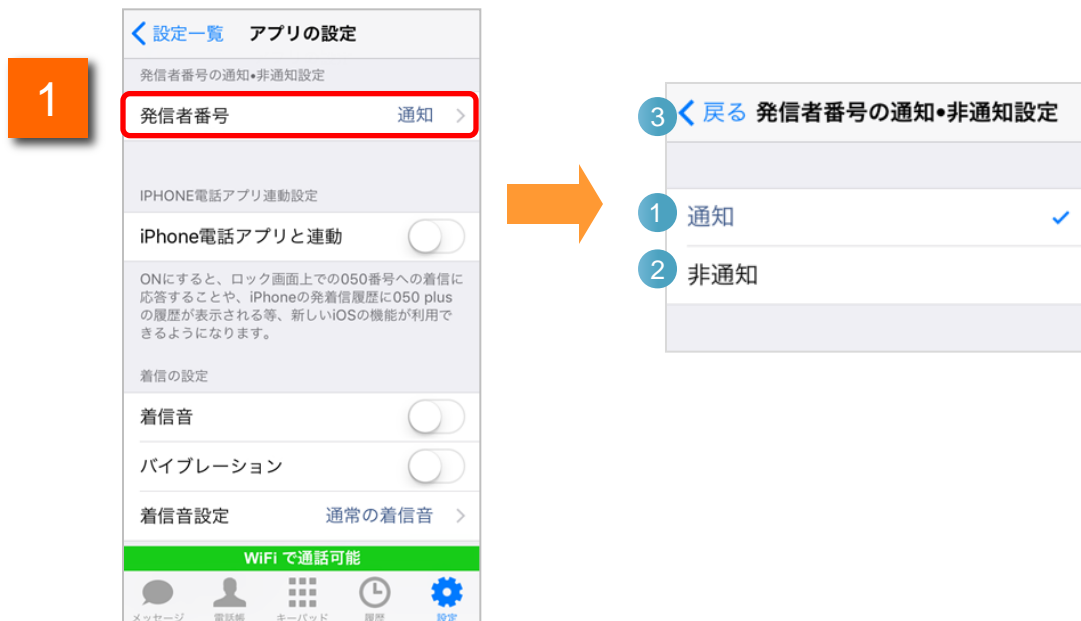


機能紹介			
1	設定一覧	「設定一覧」へ戻ります。	P.47
2	発信者番号	発信者番号の通知・非通知の選択を行うことができます。	P.49
3	iPhone電話アプリと連動	ロック画面上で050番号への着信に応答したり、iPhone電話アプリの履歴に050 plus for Bizの履歴を表示する等の機能が利用できます。	P.50
4	着信音	着信時に着信音が鳴動するかを設定できます。	—
5	バイブレーション	着信時にバイブレーションが鳴動するかを設定できます。	—
6	着信音設定	着信音を設定できます。	P.51
7	通話OFFモード	発信/着信の機能を停止します。留守番電話がONの場合は留守番電話センタで応答します。	P.53
8	携帯電話モード設定	携帯電話発信モードを変更することができます。	P.27
9	通話音量	通話音量設定画面を表示し、マイク、スピーカーの音量レベルを変更することができます。	P.54
10	キーボード音	キーボードタッチ音を鳴動するかを設定できます。	—
11	おトク額設定	おトク額情報の設定ができます。	P.55
12	Web電話帳設定	Web電話帳の設定ができます。	—
13	メッセージの設定	メッセージの設定については、別紙「050 plus for Biz/050 plus W-mode 操作マニュアル for iPhone Web電話帳編」を御覧ください。	—
14	高度な設定	通話品質アラーム音、遅延改善設定、ログ送信の設定ができます。	—

※画面イメージは開発中のものです。実際の表示とは異なる場合があります。

各種設定

内線番号/050番号の発信者番号の通知/非通知を設定する



1

アプリの設定の[発信者番号]をタップすると、通知・非通知の設定画面が表示されます。

機能紹介		
1	通知ボタン	タップすると通知に設定されます。
2	非通知ボタン	タップすると非通知に設定されます。
3	アプリの設定ボタン	「アプリの設定」へ戻ります。

各種設定

iPhone電話アプリと連動



1

「iPhone電話アプリと連動」を有効にすると、050 plus for BizとiPhoneの標準電話アプリ機能が連動します。

2

050 plus for BizとiPhone電話アプリが連動しているときは、050 plus for Bizの着信であっても、iPhoneの標準電話の着信画面が表示されます。

また、iPhoneの標準電話アプリの着信履歴に050 plus for Bizの着信が表示されます。

※iPhone電話アプリと連動時は、着信応答時の端末ロック解除が不要になります（端末ロック設定時）。（『電話をうける』参照）

※ iPhone電話アプリと連動時は、通話中の着信に対する操作が可能になります。（『電話をうける』参照）

※「iPhone電話アプリと連動」がオフの場合は、050 plus for Bizアプリで着信します。（050 plus for Bizの着信通知が表示されます）

各種設定

着信音を設定する



1

アプリの設定の[着信音設定]をタップすると、着信音設定画面が表示されます。

機能紹介

1	通常の着信音	タップすると本アプリケーション内部の着信音が選択されます。
2	ミュージックから選択	タップするとミュージックアプリ内に存在する一般的なフォーマットの音声ファイルから選択することができます。
3	アプリの設定ボタン	「アプリの設定」へ戻ります。

各種設定

着信音をミュージックアプリ内から選択する



1 「アプリ着信音の選択」の「ミュージックから選択」をタップすると、「設定中の着信音」が表示されます。

※通常の着信音をタップすると、アプリ内の標準着信音が鳴動します。

2 「設定中の着信音」の「ミュージック」をタップすると、ミュージックアプリ内の表示画面に遷移します。

3 着信音に設定したい曲をタップします。

4 「設定中の着信音」に、上記で選択した曲名が反映されていれば設定完了です。

各種設定

通話OFFモード



1

「通話OFFモード」を有効にすると、着信ができなくなります。着信したくないときはスイッチをONにしてください。

※留守番電話をONに設定している場合、留守番電話が応答します。

2

「通話OFFモード」が有効になっていると、ステータスバーに「通話OFFモード」と表示されます。

各種設定

050 plus for Bizの通話音量を設定する



1

アプリの設定の[通話音量]をタップすると、050 plus for Bizの送話音量・受話音量の設定画面が表示されます。

機能紹介

機能紹介		
1	送話音量自動調整	送話音量を相手に聞き取りやすい音量に自動調整します。
2	送話音量調整スライダー	スライダーを動かすと設定値を右側に表示します。スライダーの最小値、最大値はそれぞれ「-12」「+12」です。
3	受話音量調整スライダー	(送話音量調整スライダーは、送話音量自動調整をOFFにすることで、調整可能です)

各種設定

おトク額表示設定を変更する



- 1 アプリの設定の[おトク額設定]をタップすると、050 plus for Biz のおトク額表示設定画面が表示されます。

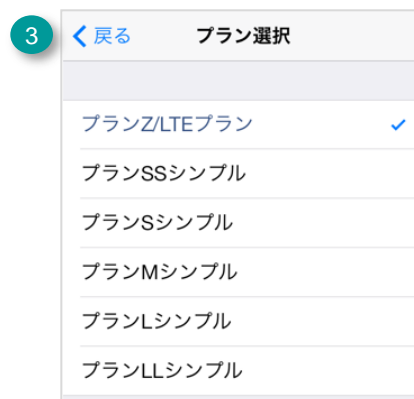
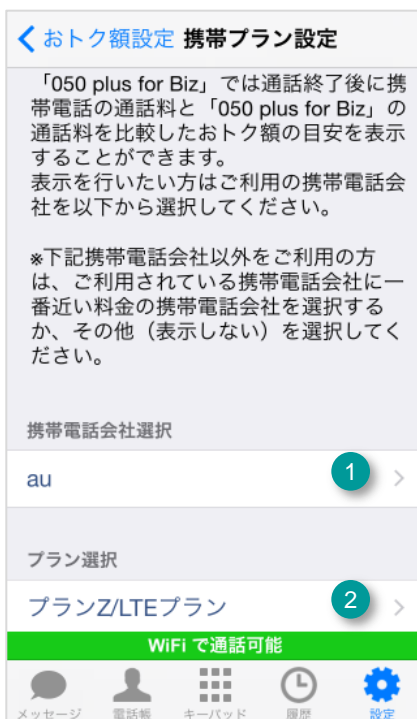
機能紹介

1	おトク額の表示	オンにしている場合、通話終了後におトク額を表示します。
2	携帯プラン設定	通話終了後に計算を行うキャリアプランを設定します。
3	おトク額情報	直近3か月のおトク額を表示します。

- 2 [おトク額の表示]にオンにしていると、通話終了時におトク額を表示します。オフにすると、通話終了時のおトク額の表示を行いません。また、携帯プラン設定、おトク額情報は選択できません。

各種設定

おトク額表示用のキャリアプランを変更する



3

[携帯プラン設定]をタップすると、おトク額表示用の携帯プラン設定画面が表示されます。

機能紹介

機能紹介		
1	携帯電話会社選択	携帯電話会社選択画面を表示します。 携帯電話会社を一覧から選択します。その他(表示しない)を選択するとキャリアプランのおトク額は計算しません。
2	プラン選択	プラン選択画面を表示します。 キャリアプランを一覧から選択します。表示されるプランは携帯電話会社毎に異なります。
3	携帯プラン設定	携帯プラン設定画面に戻ります。

各種設定

おトク額情報を表示する



4 [おトク額情報]をタップすると、直近3か月のおトク額情報が表示されます。

機能紹介

機能紹介		
1	おトク額情報表示月	選択されている月のおトク額情報を表示します。
2	通話回数	表示月の総通話回数を表示します。
3	総通話時間	表示月の総通話時間を表示します。
4	通話料総額	表示月のアプリ通話料の総額を表示します。
5	月間累計おトク額	表示月のアプリ通話料の総額とキャリアプラン通話料の差額を表示します。

各種設定

メンテナンス情報を確認する



1

設定一覧の[工事/故障情報]をタップすると、メンテナンス情報を確認することができます。

機能紹介

1

設定一覧ボタン

「設定一覧」へ戻ります。

各種設定

050番号を確認する



1

画面右下の[設定]をタップすると、「自分の050番号」にご利用の050番号が表示されます。

各種設定

このアプリのバージョンを表示する



1

設定一覧の[バージョン情報]をタップすると、050 plus for Bizのバージョン画面が表示されます。

機能紹介

1	設定一覧ボタン	「設定一覧」へ戻ります。
2	アプリバージョン	アプリバージョンを表示します。

各種設定

アプリを終了する



1

ホーム画面でiPhone端末のホームボタンをすばやく2回クリックするとアプリのリストが表示されます。

2

050 plus for Biz アイコンの上部のアプリの画面を上へスワイプします。

各種設定

アプリをアンインストールする

アンインストールは、通常のアプリケーションと同じ方法で行います。



1 ホーム画面で050 plus for Bizアイコンを長押しするとアイコンの左上に × マークが表示されますので、アイコンをタップします。

2 確認ダイアログが表示されますので、[削除]をタップします。

転送・留守電機能

・iOS版アプリでは、転送/留守電機能の設定条件は「全て」および「無応答」のみご利用いただけます。「圏外」「話中」の設定条件はご利用いただけません。

・転送・留守電機能を利用する場合は、無応答転送・留守電とし「呼出時間」を15秒以上に設定してご利用ください。

転送・留守電機能

転送設定・留守電設定を行う場合は、下記フローに従い参照ページをご確認ください。

また、設定する手段は「WEBカスコン設定」「ダイヤル設定」「アプリからの設定」と3種類あり、設定内容が異なりますのでご注意ください。

【転送設定】

手順	WEBカスコン 設定	ダイヤル 設定	アプリからの 設定
①転送先設定	P.65-66	P.67-68	P.74-75
②転送条件の設定		P.69-70	P.76-78
③転送設定の確認		P.71	P.79-80
④転送設定の停止		P.72	P.81-82

※ ガイダンスなしで設定する場合はP.73

【留守電設定】

手順	WEBカスコン 設定	ダイヤル 設定	アプリからの 設定
①メッセージBOX設定	P.83（共通設定） ※留守電を利用する場合は、 事前にメッセージBOX設定をして下さい		
②留守電条件の設定	P.84	P.85-86	P.90-92
③留守電設定の確認		P.87	P.93-94
④留守電設定の停止		P.88	P.95-96

※ ガイダンスなしで設定する場合はP.89

転送機能 (WEBカスコン設定)

転送機能を利用する

1

2

1

WEBカスコンのログインページ (<https://bizvoipcc.ocn.ne.jp/webcuscon/login>)を開きます。ご利用内容のご案内に記載されているID/パスワードを入力しログインします。

2

画面左欄の「転送設定」から変更をクリックします。

転送機能 (WEBカスコン設定)

転送機能を利用する

転送変更: 設定情報入力

転送元番号 05034819957

転送先電話番号

3

1

2

3

4

5

(半角数字、ハイフンなし)

電話機から設定した内容は、1番目の転送先電話番号に反映されます。
2~5番目の転送先電話番号を指定できるのは、Webカスタマーコントロールのみとなります。

4

転送動作

無条件 転送 留守番録音 設定しない

話中 転送 留守番録音 設定しない

圏外 転送 留守番録音 設定しない

無応答 転送 留守番録音 設定しない

(着信)呼び出し時間 秒(5-30、半角数字)

「無応答」を選択した場合は「呼び出し時間」を指定してください。

入力内容確認 戻る

3

「転送先電話番号」欄に転送したい電話番号を入力します。

4

選択したい転送条件を選択し、[入力内容確認]をタップします。

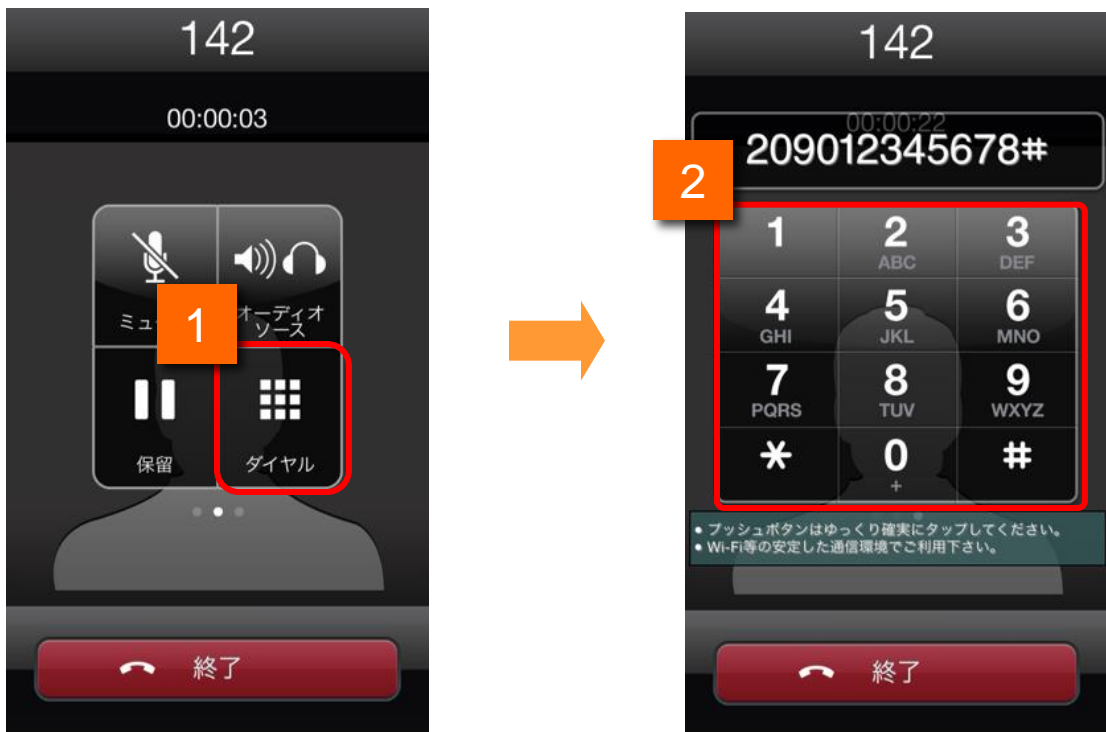
※「転送」と書かれたラジオボタンにチェックを入れます

転送機能(ダイヤル設定)

転送機能を利用する

転送時の通話料金は、050 plus for Bizご契約者様へ請求されます。

発信元 → 050 plus for Biz : 発信者が通話料を負担
050 plus for Biz → 転送先電話番号 : 050 plus for Bizご契約者様の負担



1

転送機能の設定方法を説明します。

142をダイヤルします。通話中に[ダイヤル]ボタンをタップすると、[キーパッド]が表示されます。

2

ガイダンスに沿って、転送サービスの設定や転送先番号を入力します。

以上が共通の操作フローになります。

転送機能(ダイヤル設定)

転送先電話番号の登録、変更

転送先電話番号の登録は以下の手順になります(手順に沿って操作すると、それぞれ次のガイダンスが流れます)。

1

「142」をダイヤル

ガイダンス

転送サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、転送モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、転送先の登録は数字の「2」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了する場合は数字の「9」を押してください。

2

「2」をダイヤル

ガイダンス

転送先の電話番号の登録を行います。転送先の電話番号を押して、最後に「#」を押してください。

3

転送先の電話番号を入力して、最後に「#」を押してください。

ガイダンス

転送先を xxxxxxxxxx に設定しました。続けて転送モードの登録とサービスの開始を行う場合は数字の「1」を、トップメニューにもどる場合は数字の「2」を、終了する場合は数字の「9」を押してください。

※一般電話の場合は市外局番から、内線番号の場合は拠点番号から登録してください。携帯電話、PHSも登録できます。国際電話は設定できません。

4

「9」をダイヤルし終了

転送機能(ダイヤル設定)

転送の開始・モードの指定

転送モードを指定し、転送を開始するには、以下の手順になります(手順に沿って操作すると、それぞれ次のガイダンスが流れます)。

1

「142」をダイヤル

ガイダンス

転送サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、転送モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、転送先の登録は数字の「2」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了する場合は数字の「9」を押してください。

2

「1」をダイヤル

ガイダンス

転送モードの指定とサービスの開始を行います。無条件転送は数字の「1」、圏外転送は数字の「2」、話中転送は数字の「3」、話中・圏外転送する場合は数字の「4」、無応答転送は数字の「5」、話中・圏外・無応答転送は数字の「6」、圏外・無応答転送は数字の「7」、話中・無応答転送は数字の「8」を押してください。

転送機能(ダイヤル設定)

3

転送モードを指定します。

利用する転送モードに応じてダイヤルします。

ダイヤル番号	転送モード	ガイダンス
「1」	無条件転送	無条件転送サービスを開始しました。留守番機能は無効になります。(以降、共通ガイダンス)
「2」	圏外転送	圏外で転送サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「3」	話中転送	話中で転送サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「4」	話中+圏外転送	話中・圏外で転送サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「5」	無応答転送	呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		無応答で転送サービスを開始しました。呼び出し時間は[xx]秒です。(以降、共通ガイダンス)
「6」	話中+圏外+無応答転送	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		話中・圏外・無応答で転送サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)
「7」	圏外+無応答転送	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		圏外・無応答で転送サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)
「8」	話中+無応答転送	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		話中・無応答で転送サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)

共通ガイダンス

続けて転送先電話番号の変更を行う場合は数字の「1」を、トップメニューにもどる場合は数字の「2」を、終了する場合は数字の「9」を押してください。

4

「9」をダイヤルし終了

転送機能(ダイヤル設定)

転送設定の確認

転送の設定内容(開始、停止、モードなど)を確認するには以下の手順になります。
(手順に沿って操作すると、それぞれ以下のガイダンスが流れます)

1

「142」をダイヤル

ガイダンス

転送サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、転送モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、転送先の登録は数字の「2」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了の場合は数字の「9」を押してください。

2

「8」をダイヤル

状態	ガイダンス
転送を開始している場合	①現在、サービスは開始中です。 ②転送モードは、〇〇です。 ③(無応答転送のみ)呼び出し時間はxx秒です。 ④転送先は、xxxxxxxxxxです。
転送を停止している場合	現在、サービスは停止中です。

転送機能(ダイヤル設定)

転送の停止

転送を停止するには、以下の手順になります(手順に沿って操作すると、それぞれ次のガイダンスが流れます)。

1

「142」をダイヤル

ガイダンス

転送サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、転送モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、転送先の登録は数字の「2」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了の場合は数字の「9」を押してください。

2

「0」をダイヤルし終了

ガイダンス

サービスを停止いたしました。

転送機能(ダイヤル設定)

ガイダンスなしで設定する場合

ガイダンスを省略して転送設定を行う場合は、下の表のダイヤル番号をタップ、またはアプリからの設定を行ってください。

※転送設定ダイヤル番号一覧

機能名	内容	操作(ダイヤル番号)
転送先番号登録	転送先番号を登録します。	1422+転送先電話番号
無条件転送	全ての着信呼を転送します。	14211
圏外転送	圏外・電源OFFの場合に転送します。	14212
話中転送	通話中に転送します。	14213
話中+圏外転送	通話中・圏外・電源OFFの場合に転送します。	14214
無応答転送	一定時間(5~30秒)応答しない場合に転送します。	14215+呼出秒数「5~30」
話中+圏外+無応答転送	通話中・圏外・電源OFF、一定時間(5~30秒)応答しない場合には転送します。	14216+呼出秒数「5~30」
圏外+無応答転送	圏外・電源OFF、一定時間(5~30秒)応答しない場合には転送します。	14217+呼出秒数「5~30」
話中+無応答転送	通話中、一定時間(5~30秒)応答しない場合に転送します。	14218+呼出秒数「5~30」
転送設定確認	転送設定を確認します。	1428
転送停止	各種転送を停止します。	1420

転送機能(アプリからの設定)

転送先電話番号の登録、変更



1 設定一覧画面の [設定の登録・変更] をタップします。

2 転送/留守番設定の登録・変更画面が表示されますので、[転送先番号の登録] をタップします。

3 転送先番号の登録画面が表示されますので、[転送先番号] をタップし、転送先番号を入力します。

転送機能(アプリからの設定)

転送先電話番号の登録、変更



4 転送先の電話番号を入力後、[登録]をタップします。

5 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。

6 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

ガイダンス

転送先を xxxxxxxxxx にセットいたしました。

7 [終了]をタップ、もしくはガイダンス終了で通話を終了します。

**※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。**

転送機能(アプリからの設定)

転送の開始・モードの指定



1 設定一覧画面の[設定の登録・変更]をタップします。

2 転送/留守番設定の登録・変更画面が表示されますので、[転送条件の変更]をタップします。

3 転送条件の変更画面が表示されます。

転送機能(アプリからの設定)

転送の開始・モードの指定



4

[転送条件を選択]の場合、無応答転送のスイッチをオンに変更すると、無応答呼出時間を選択できるようになります。

5

呼出時間をタップすると、5秒～30秒を選択できます。

機能紹介

1	全て転送	転送条件を「無条件転送」にします。
2	転送条件を選択	転送条件 3～6 を設定できます。
3	圏外転送	転送条件に「圏外転送」を追加します。
4	話中転送	転送条件に「話中転送」を追加します。
5	無応答転送	転送条件に「無応答転送」を追加します。
6	呼出時間	無応答転送の呼出時間(5～30s)を設定します。

※iOS版アプリでは、転送機能の設定条件は「全て転送」および「無応答転送」のみご利用いただけます。

※無応答転送は「呼出時間」を15秒以上に設定してご利用ください。

転送機能(アプリからの設定)

転送の開始・モードの指定



- 6 転送条件を設定後、[変更]をタップします。
- 7 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。
- 8 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

ガイダンス

転送サービスを開始いたします。

- 9 [終話]をタップ、もしくはガイダンス終了で終了します。

※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。

転送機能(アプリからの設定)

転送設定の確認



1 設定一覧画面の[設定の確認]をタップします。

2 転送/留守電設定の確認画面が表示されますので、[転送]をタップします。

転送機能(アプリからの設定)

転送設定の確認



3 転送を選択後、[確認]をタップします。

4 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。

5 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

状態	ガイダンス
転送を開始している場合	現在、サービスは開始中です。 転送モードは、〇〇です。 (無応答転送のみ)呼び出し時間はxx秒です。 転送先は、xxxxxxxxxxです。
転送を停止している場合	現在、サービスは停止中です。 転送先は、xxxxxxxxxxです。

6 [終了]をタップ、もしくはガイダンス終了で通話を終了します。

※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。

転送機能(アプリからの設定)

転送設定の停止



1 設定一覧画面の[設定の停止]をタップします。

2 転送/留守番設定の停止画面が表示されますので、[転送]をタップします。

転送機能(アプリからの設定)

転送設定の停止



- 3 転送を選択後、[停止]をタップします。
- 4 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。
- 5 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

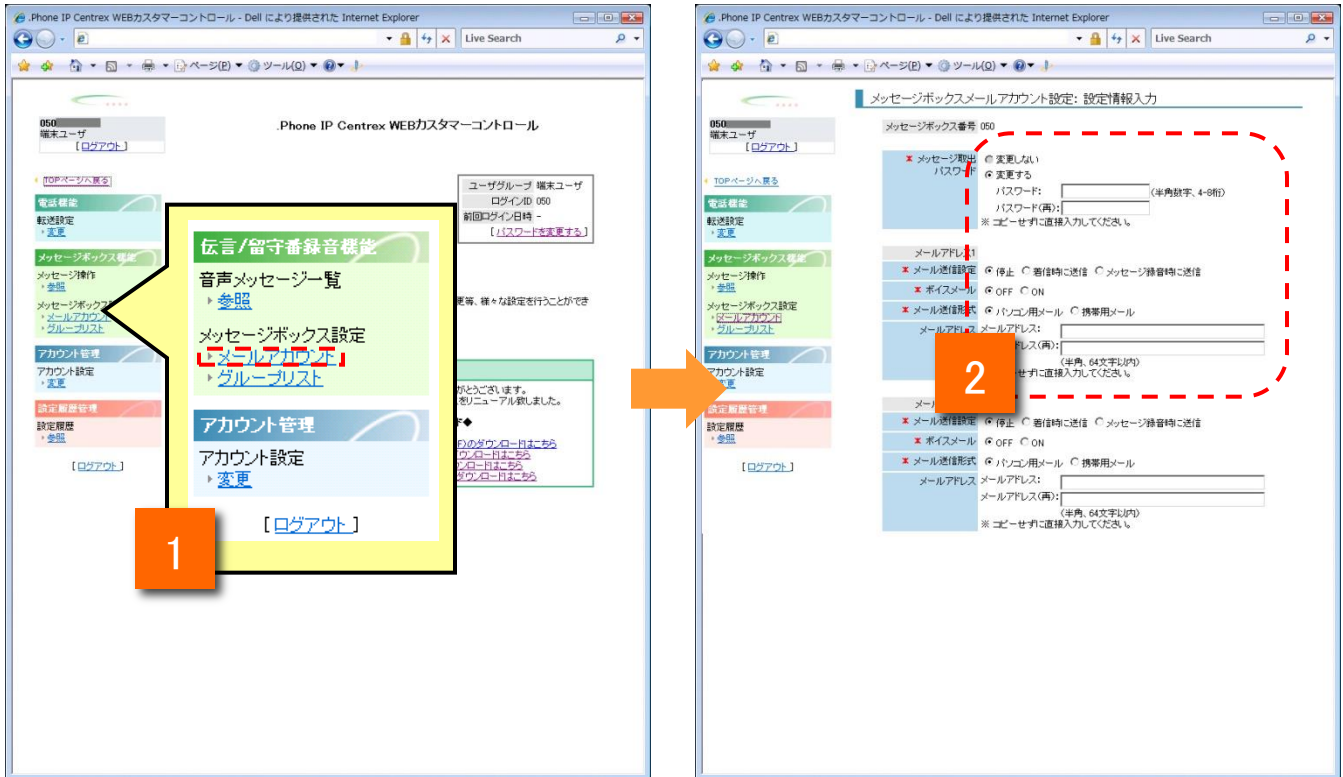
ガイダンス

転送サービスを停止いたします。

- 6 [終了]をタップ、もしくはガイダンス終了で通話を終了します。
※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。

留守電機能(メッセージBOX設定)

メッセージBOXを設定する



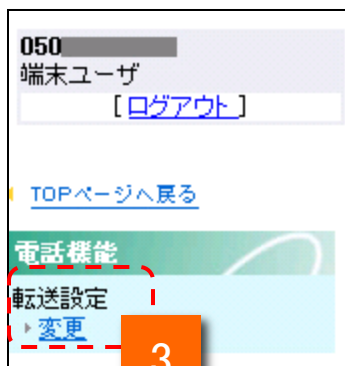
1 メッセージボックスの設定を行います。
WEBカスコンログイン後に、「メッセージボックス設定」の「メールアカウント」をクリックします

2 設定情報入力画面にて、以下の設定を行います。

- ・「メッセージ取出パスワード」設定
- ・「メールアドレス」の登録
- ・「ボイスメール」のONをチェック
- ・メール送信設定のチェック
(着信時に送信、メッセージ録音時に送信)

留守電機能 (WEBカスコン設定)

留守電機能を利用する



転送変更: 設定情報入力

転送元番号 05034819957

転送先電話番号

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

(半角数字、ハイフンなし)

電話機から設定した内容は、1番目の転送先電話番号に反映されます。
2~5番目の転送先電話番号を指定できるのは、Webカスタマーコントロールのみとなります。

転送動作

無条件	<input type="radio"/> 転送	<input type="radio"/> 留守番録音	<input checked="" type="radio"/> 設定しない
話中	<input type="radio"/> 転送	<input type="radio"/> 留守番録音	<input checked="" type="radio"/> 設定しない
圏外	<input type="radio"/> 転送	<input type="radio"/> 留守番録音	<input checked="" type="radio"/> 設定しない
無応答	<input type="radio"/> 転送	<input type="radio"/> 留守番録音	<input checked="" type="radio"/> 設定しない

(着信)呼び出し時間 秒(5-) 文字

「無応答」を選択した場合は「呼び出し時間」を指定してください。

入力内容確認 戻る

3

WEBカスコン画面左欄の「転送」をクリックします

4

転送動作の無条件の欄に「留守電録音」にチェックを入れます。
その後、「入力内容確認」をクリックし、留守電設定は完了です。

留守電機能(ダイヤル設定)

留守電の開始・モードの指定

転送モードを指定し、転送を開始するには、以下の手順になります(手順に沿って操作すると、それぞれ次のガイダンスが流れます)。

1

「141」をダイヤル

ガイダンス

留守番サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、留守番モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、リモコン設定は数字の「3」、利用状況確認は数字の「8」、終了する場合は数字の「9」を押してください。

2

「1」をダイヤル

ガイダンス

留守番モードの指定とサービスの開始を行います。無条件留守番は数字の「1」、圏外留守番は数字の「2」、話中留守番は数字の「3」、話中・圏外留守番するは数字の「4」、無応答留守番は数字の「5」、話中・圏外・無応答留守番は数字の「6」、圏外・無応答留守番は数字の「7」、話中・無応答留守番は数字の「8」を押してください。

留守電機能(ダイヤル設定)

3

留守電モードを指定します。

利用する留守電モードに応じてダイヤルします。

ダイヤル番号	留守電モード	ガイダンス
「1」	無条件留守電	無条件留守電サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「2」	圏外留守電	圏外で留守電サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「3」	話中留守電	話中で留守電サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「4」	話中+圏外留守電	話中・圏外で留守電サービスを開始しました。(以降、共通ガイダンス)
「5」	無応答留守電	呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		無応答で留守電サービスを開始しました。呼び出し時間は[xx]秒です。(以降、共通ガイダンス)
「6」	話中+圏外+無応答留守電	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		話中・圏外・無応答で留守電サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)
「7」	圏外+無応答留守電	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		圏外・無応答で留守電サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)
「8」	話中+無応答留守電	「呼び出し秒数の指定を行います。5から30までのいずれかの数字を押して、最後に#を押してください。」 ⇒「5～30」(呼び出し秒数) + 「#」をダイヤル
		話中・無応答で留守電サービスを開始しました。呼び出し時間はxx秒です。(以降、共通ガイダンス)

共通ガイダンス

転送機能は無効になります。トップメニューにもどる場合は数字の「1」を、終了する場合は数字の「9」を押して下さい。

4

「9」をダイヤルし終了

留守電機能(ダイヤル設定)

留守電設定の確認

留守電の設定内容(開始、停止、モードなど)を確認するには以下の手順になります。(手順に沿って操作すると、それぞれ以下のガイダンスが流れます)

1

「141」をダイヤル

ガイダンス

留守番サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、留守番モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了の場合は数字の「9」を押してください。

2

「8」をダイヤル

状態	ガイダンス
留守電を開始している場合	①現在、サービスは開始中です。 ②留守電モードは、〇〇です。 ③(無応答留守電のみ)呼び出し時間はxx秒です。
留守電を停止している場合	現在、サービスは停止中です。

留守電機能(ダイヤル設定)

留守電の停止

留守電を停止するには、以下の手順になります(手順に沿って操作すると、それぞれ次のガイダンスが流れます)。

1

「141」をダイヤル

ガイダンス

留守電サービスの設定を行います。サービスの停止は数字の「0」、留守電モードの指定とサービスの開始は数字の「1」、留守電先の登録は数字の「2」、リモコン設定は数字の「3」を、利用状況確認は数字の「8」、終了の場合は数字の「9」を押してください。

2

「0」をダイヤルし終了

ガイダンス

サービスを停止いたしました。

留守電機能(ダイヤル設定)

ガイダンスなしで設定する場合

ガイダンスを省略して留守電設定を行う場合は、下の表のダイヤル番号をタップ、またはアプリからの設定を行ってください。

※留守電設定ダイヤル番号一覧

機能名	内容	操作(ダイヤル番号)
無条件留守電	全ての着信呼を留守電します。	14111
圏外留守電	圏外・電源OFFの場合に留守電します。	14112
話中留守電	通話中に留守電します。	14113
話中+圏外留守電	通話中・圏外・電源OFFの場合に留守電します。	14114
無応答留守電	一定時間(5~30秒)応答しない場合に留守電します。	14115+呼出秒数「5~30」
話中+圏外+無応答留守電	通話中・圏外・電源OFF、一定時間(5~30秒)応答しない場合には留守電します。	14116+呼出秒数「5~30」
圏外+無応答留守電	圏外・電源OFF、一定時間(5~30秒)応答しない場合には留守電します。	14117+呼出秒数「5~30」
話中+無応答留守電	通話中、一定時間(5~30秒)応答しない場合に留守電します。	14118+呼出秒数「5~30」
留守電設定確認	留守電設定を確認します。	1418
留守電停止	各種留守電を停止します。	1410

留守電機能(アプリからの設定)

留守電の開始・モードの指定



1 設定一覧画面の[設定の登録・変更]をタップします。

2 転送/留守電設定の登録・変更画面が表示されますので、[留守電条件の変更]をタップします。

3 留守電条件の変更画面が表示されます。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電の開始・モードの指定



4 [留守電条件を選択]の場合、無応答転送のスイッチをオンに変更すると、無応答呼出時間を選択できるようになります。

5 呼出時間をタップすると、5秒～30秒を選択できます。

機能紹介

機能紹介		
①	全て留守電	留守電条件を「無条件留守電」にします。
②	留守電条件を選択	留守電条件 ③ ～ ⑥ を設定できます。
③	圏外留守電	留守電条件に「圏外留守電」を追加します。
④	話中留守電	留守電条件に「話中留守電」を追加します。
⑤	無応答留守電	留守電条件に「無応答留守電」を追加します。
⑥	呼出時間	無応答留守電の呼出時間(5～30s)を設定します。

※iOS版アプリでは、留守番電話機能の設定条件は「全て留守電」および「無応答留守電」のみご利用いただけます。

※無応答留守電は「呼出時間」を15秒以上に設定してご利用ください。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電の開始・モードの指定



6 留守電条件を設定後、[変更]をタップします。

7 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。

8 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

ガイダンス

留守番録音サービスを開始いたします。

9 [終話]をタップ、もしくはガイダンス終了で終了します。

※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電設定の確認



1 設定一覧画面の[設定の確認]をタップします。

2 転送/留守電設定の確認画面が表示されますので、[留守電]をタップします。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電設定の確認



- 1 留守電を選択後、[確認]をタップします。
- 2 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。
- 3 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

状態	ガイダンス
留守電を開始している場合	①現在、留守番録音サービスは開始中です。 ②留守電モードは、〇〇です。 ③(無応答転送のみ)呼び出し時間はxx秒です。
留守電を停止している場合	現在、留守番録音サービスは停止中です。

- 4 [終了]をタップ、もしくはガイダンス終了で通話を終了します。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電設定の停止



1 設定一覧画面の[転送/留守番設定の停止]をタップします。

2 転送/留守番設定の停止画面が表示されますので、[留守電]をタップします。

留守電機能(アプリからの設定)

留守電設定の停止



3 留守電の停止を選択後、[停止]をタップします。

4 ポップアップが表示されますので、[OK]をタップします。

5 発信画面が表示され、次のガイダンスが流れます。

ガイダンス

留守番録音サービスを停止いたします。

6 [終了]をタップ、もしくはガイダンス終了で通話を終了します。

※音声ガイダンスを最後まで聴取しないと、設定は反映されません。
また、アプリに設定情報は残りませんのでご注意ください。

ログ送付

ログ送信機能

ログを記録する

IP電話の通話に不具合が発生した場合、症状の問診と併せて、050 plus for Bizのログ(操作や入出力の記録)の送信をお願いする場合があります。

本項目では、ログの記録方法と送信方法についてご案内します。



1

ホーム画面上の



をタップします。

2

アプリ下部に表示されている[設定]タブをタップし、設定一覧を表示します。

3

[アプリの設定]をタップしアプリの設定一覧を表示します。

ログ送信機能



4

アプリの設定一覧下部に表示されている[高度な設定]をタップし、高度な設定一覧を表示します。

5

[ログ送信]をタップするとログ送信画面が表示されます。

ログ送信機能



6 [ログの取得]をオンにすると確認ダイアログが表示されます。

7 [OK]をタップするとログ記録が開始されます。

ログ送信機能

ログを停止する

不具合事象の再現が確認できたら、ログの記録を停止し、ログを保存します。



8

高度な設定一覧で[ログ送信]をタップすると画面が表示されます。

9

[ログの取得]をオフにするとログ記録が停止されます。

ログ送信機能

ログをメールで送る

保存したログをメールで送ります。



10

高度な設定一覧で[ログ送信]をタップすると画面が表示されます。

11

[ログの送信]をタップすると確認ダイアログが表示されます。

12

[OK]をタップするとログの圧縮が開始されます。

ログ送信機能

ログをメールで送る



13

メールアプリケーションが起動しますので、内容を確認し、[送信]ボタンをタップして送信します。

ログ送信機能

ログを削除する

保存したログを削除します。



14

高度な設定一覧で[ログ送信]をタップすると画面が表示されます。

15

[ログの削除]をタップします。

16

「全て消去」をタップします。

通話不可状態からの 手動回復機能

通話不可状態からの手動回復機能

復旧方法

050 plus for Bizを起動した際、認証エラー等で通話不可(赤アイコン)となってしまう場合がありますが、以下の操作を行っていただくことで復旧します。

※端末の電波が不安定な環境にある場合を除きます。

【アイコンをタップして復旧する方法】



- 1 ステータスバーのアイコンが通話不可(赤アイコン)と表示されていることを確認します
- 2 端末のホームボタンをタップし、アプリ一覧画面を表示します
- 3 アプリ一覧画面から「050 plus for Biz」をタップします
- 4 ステータスバーのアイコンが通話可能(緑アイコン)に変わったことを確認します

通話不可状態からの手動回復機能

復旧方法

【アプリ内の画面を遷移して復旧する方法】



1

ステータスバーのアイコンが通話不可(赤アイコン)と表示されていることを確認します

2

アプリ内の別画面に遷移させます。(例:上記画面は設定一覧に遷移させた場合)画面遷移後、再度接続状態(黄色アイコン)に遷移します。

3

ステータスバーのアイコンが通話可能(緑アイコン)に変わったことを確認します

接続状態測定

接続状態測定

ネットワークモニタ設定



- 1 アプリの設定一覧下部に表示されている[高度な設定]をタップし、高度な設定一覧を表示します。
- 2 [ネットワークモニタ]をタップするとネットワークモニタの設定画面が表示されます。

機能紹介

1	接続状態自動測定	接続状態の自動測定を実施するかどうかを設定出来ます。
2	接続状態アラーム音	通話品質アラーム音を鳴動するかを設定できます。
3	高度な設定ボタン	「高度な設定」へ戻ります。

ネットワークモニタ
電話をかける前にネットワークの接続状態をお知らせする機能を使いますか？ (あとで設定画面でも変更できます)

いいえ はい

ネットワークモニタ機能の使用についてポップアップ画面が表示されます。

- ・アカウント設定済みの場合: バージョンアップ後のアプリ起動時
- ・アカウント未設定の場合: 新規インストール、バージョンアップ時

「はい」を選択すると、接続状態自動測定が「ON」に設定されます。
※ネットワークモニタ機能の利用有無は設定画面で変更できます。

接続状態測定

自動モニタリング

対象の画面*1が表示された際、ネットワークの自動モニタリングを開始し、接続状態をステータスバーに表示します。接続状態が不安定になった場合は、ステータスバーに警告メッセージを表示します。

※接続状態自動測定がONの場合のみ



*1: 対象の画面はタブが表示されている以下の画面です。

- ・お気に入り画面
- ・電話帳画面
- ・キーパッド画面
- ・履歴画面

接続状態測定

手動モニタリング

接続状態測定をタップすることで、ネットワークの手動モニタリングを開始し、現在の接続状態を確認することができます。

※接続状態自動測定がON・OFFどちらの状態でも確認出来ます。

1

2

【ネットワーク状態:悪】

不安定です

【ネットワーク状態:良】

安定しています

【ネットワーク状態:不明・未取得】

測定中です

【ネットワーク状態:測定終了】

測定を終了しました

【ネットワーク状態:未接続】

接続していません

1 アプリの設定画面を表示し、[接続状態測定]の項目をタップします。

2 接続状態測定画面が表示され、手動モニタリングを開始します。

接続状態測定

通話中モニタリング

通話中になるとネットワークの自動モニタリングを開始します。
通話中に接続状態が不安定になった場合は、画面上に警告メッセージを表示します。
※接続状態自動測定がONの場合のみ

ネットワークが不安定になると警告メッセージを表示してお知らせします。



※接続状態アラーム音がONの状態、接続状態が不安定になった場合は、通知音でお知らせします。

制約事項

制約事項

- 電波状況が悪い場所では、IP電話の通話が不安定になることがあります。音切れ、音声品質の劣化、音声の遅延、通話の終了などが発生します。
- マイクデバイスを使用する他のアプリとの競合により、通話ができない場合があります。この場合、警告画面が表示されます。
- au(3G)をご利用の方は、050 plus for Bizでの通話中に090/080/070番号に着信が入ると、090/080/070番号での通話が優先され、050 plus for Bizでの通話が切断されます。通話ができなくなったときから通信が切断されるまでの時間(最大で約170秒間)には、通話料金が発生します。
- au(3G)をご利用の方は、090/080/070番号で通話中に050 plus for Bizに着信が入ると、090/080/070番号での通話が優先され、050 plus for Bizに発信した側は無音となり、しばらくすると通信が切断されます。通話ができなくなったときから通信が切断されるまでの時間(最大で約170秒間)には、通話料金が発生します。
- 050 plus for Biz通話時、090/080/070番号へ着信が入ると、着信音が鳴り、応答／拒否画面に移ります。応答すると050 plus for Biz通話が切断され、090/080/070番号での通話となります。拒否すると050 plus for Biz通話が継続します。
- 050 plus for Biz通話中に、090/080/070番号から発信すると、050 plus for Biz通話は切断され、090/080/070番号での通話となります。
- 着信設定を「通常」としている場合、090/080/070番号での通話中に、050 plus for Bizへ着信が入ると、発信者には通話中を知らせるメッセージが流れ、090/080/070番号での通話は継続します。
- 着信設定を「プッシュ通知」としている場合、090/080/070番号での通話中に、050 plus for Bizへ着信が入ると、発信者には呼出音の後に通話中音が流れます。着信者には不在着信が残ります。
- 090/080/070番号での通話中に、050 plus for Bizから発信するとアプリのキーパッドに発信した電話番号が表示され、090/080/070番号での通話は継続します。
- auのVoLTE非対応端末では、090/080/070番号での通話中に「プッシュ通知」を受け取れません。
- iOS版アプリでは、転送/留守電機能の設定条件は「全て」および「無応答」のみご利用いただけます。

Bluetooth利用時の注意事項

1. Bluetooth機器は下記条件にて利用可能です。

iOS バージョン	5.0 以上 (※iPhone3GS/iPad/iPod touch 第3世代除く)
Bluetooth バージョン	2.0+EDR 以上
対応プロファイル	HSP / HFP

※上記に対応しているBluetooth機器及び端末でも、ご利用できない場合があります。
ご利用の際はBluetooth機器やスマートフォン端末の取り扱い説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

2. 下記原因により、音声の途切れなどで通話が困難な場合があります。
- ・Bluetooth機器とスマートフォンの相性や距離
 - ・Bluetooth機器やスマートフォンの状態(電池残量等)
 - ・電波干渉の影響(Wi-Fi(iEEE802.11b/g)利用時等)
3. 対応プロファイルがHSPのみの場合、Bluetooth機器での発着信操作はできません。
※発信や着信応答の操作はアプリの画面で行ってください。
※ HFPプロファイル対応機器の場合は着信応答可能です。
応答操作については、各機器の操作マニュアルにてご確認ください。
4. A2DPプロファイルの対応有無により着信音の挙動が異なります。

A2DP対応	直前に利用していたアプリと同じ設定で鳴動する
A2DP非対応	スピーカーから鳴動する

5. A2DP対応機器について
- ・Bluetoothでの通話 → 普通の通話(電話のマイク、イヤホンマイクなど)への切り替えができない場合、Bluetooth接続をOFFにしてください。
 - ・Bluetoothでの通話後、音楽アプリから音が出なくなった場合、再度Bluetooth接続を行なってください。

<<参考情報>>

・プロファイルとは、Bluetooth機器の種類ごとに機能を標準化した規格のことです。
Bluetoothでの通話を実現する場合、iOS端末(スマートフォン等)、Bluetooth機器(ヘッドセット等)、
利用するアプリケーションが同一のプロファイルに対応している必要があります。

HSP (Headset Profile)

Bluetooth機器と通信を行う規格。モノラル音声の受信、マイクによる双方向通信を可能とする

HFP (Hands-Free Profile)

Bluetooth機器でハンズフリー通話を行う規格。HSPに加えて、発信・着信操作等が可能となる

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

音声をレーザー付きヘッドフォン(またはイヤホン)に伝送するための規格。

HSP/HFPと異なり、ステレオ音声・高音質となるため、音楽、動画等の再生用として利用される。

※携帯電話モード発信は端末標準の電話機能を使用するため、端末のBluetooth仕様に準拠します。